

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-510	22-075	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Influence of Alcohol Consumption on the Development of Erosive Esophagitis in Both Sexes: A Longitudinal Study 男女におけるアルコール摂取がびらん性食道炎に及ぼす影響		
執筆者		
Sogabe M, Okahisa T, Kagawa M, Ueda H, Kagemoto K, Tanaka H, Kida Y, Tomonari T, Taniguchi T, Miyamoto H, Sato Y, Nakasono M, Takayama T.		
掲載誌		
Nutrients. 2022 Nov 10;14(22):4760. doi: 10.3390/nu14224760.		
キーワード		PMID
びらん性食道炎、アルコール摂取量、発症、性、年齢		36432447
要旨		
<p>目的: アルコール摂取量がびらん性食道炎 (EE) 発症に及ぼす影響は男女ともに不明であり、本研究で検討した。</p> <p>方法: 1年以上にわたって2回以上の健診を受けた13,448人のうち、ベースライン時にEEを発症していなかった2582人を対象とした。飲酒によるEE発症のオッズ比 (OR) および95%信頼区間 (CI) をロジスティック回帰分析により男女別に算出した。</p> <p>結果: 観察期間中、男性211/1405人 (15.0%)、女性79/1177人 (6.7%) がEEを新たに発症した。EE発症における飲酒者のORは、男性で1.252 (95%CI: 0.907-1.726)、女性で1.078 (95%CI: 0.666-1.747) であった。50歳未満での検討では、男性で、EE発症における飲酒量≥ 70g/週のORは2.825 (95%CI: 1.427-5.592) であったのに対し、女性では、EE発症における飲酒量≥ 140g/週のORは3.248 (95%CI: 1.646-6.410) であった。また、50歳未満における、非飲酒者に対する毎日飲酒者のEE発症ORは男性で2.692 (95%CI: 1.298-5.586)、女性で4.030 (95%CI: 1.404-11.57) であった。</p> <p>結論: EE発症に対する飲酒の影響は男女で異なっていた。EE発症予防のためには、特に50歳未満の人には飲酒を推奨しない。また、毎日飲酒する人は、EEの評価が必要と考えられる。</p>		